

アートプロジェクト入門 II

| | | |
|-----------|--|----------|
| 授業科目名 | アートプロジェクト入門 II | 単位数 4 単位 |
| 英語標記 | Introduction to Art Projects II | |
| 授業コード | 360412 | |
| 受講人数 | 24 人程度 | |
| 担当教員 | 藤田 治彦 | |
| 対象 | 全研究科大学院生、全学部学生 | |
| 開講時間等 | 4月に授業説明会を行い、授業の大半は8月以降に実施（コメントの欄参照） | |
| 開講場所 | 授業説明会（要出席）：4月8日または4月9日、大阪大学学内授業（要出席）：8月6日、サマースクール（要出席）：8月27日-9月18日（コメントの欄参照） | |
| キーワード | 芸術、企画力、デザイン、文化力、マネジメント | |
| 授業の目的 | 現代のアートとデザインは、地域や日常生活に浸透するとともに、従来の領域や地域文化を超えて展開しており、芸術周辺諸分野からの関連プロジェクトへの参加が期待されています。また、実制作以前の一あるいは制作をも含む一プロジェクト自体への興味が高まり、芸術は最終的な作品としてだけではなく、プロジェクト全体として評価されるようになりつつあります。アートプロジェクト入門では、さまざまな分野の学生・院生や社会人が、知識や経験を分かち合いながら、プロジェクトという視点から、講義と実体験を通じて、アートとデザインの実践的理解、現状の把握をめざします。大学院・学部高学年レベルの授業です。 | |
| 講義内容 | 4月8日または9日の授業説明会（要出席）、8月6日の大阪大学学内授業の後、8月27日にイタリアに向かい、ボローニャ大学で2週間半のサマースクールに参加します。そこではデザイン美学、デザイン史、芸術史、プロダクト・デザイン、グラフィック・デザインなどの基礎を学び、CAD 実習、クレイ・モデル制作などを行います。英語で行われるこれらの講義や実習の多くは既存の諸芸術やデザインの特定の分野にかかわりますが、ジャンルを超えた発想やプロジェクト性を重視して設定されています。それにデザイン関連企業や美術館の見学などを加え、実践的にイタリアの文化とデザインを学びます。（コメントの欄も参照） | |
| 教科書 | 特になし。適宜資料を配布する。 | |
| 参考書 | 特になし。適宜資料を配布する。 | |
| 成績評価 | 講義と実習による総合評価。出席とミニレポート・実習作品等により評価する。 | |
| 履修条件・受講条件 | コメント欄等に記されている「授業説明会」「大阪大学学内授業」「サマースクール」のすべてに参加することが条件です。 | |
| その他 | イタリア・デザイン・サマースクールは、往復航空券の予約等のため、KOAN 登録締切日以前に参加申し込みを締め切ります。具体的には4月8日または9日の授業説明会に参加して、受講希望票を提出した人のなかから約24名を選びます。受講希望者がその人数以下の場合のみ、その後数日受け付ける場合もありますが、例年、希望者が定員を超え、ウェイティング・リストをつくっています。 問合せ先：hfujita@let.osaka-u.ac.jp | |

以下の「授業説明会」「大阪大学学内授業」「サマースクール」のすべてに参加することが要件

授業説明会

豊中・基礎工学部 B103 講義室（4月8日（木）18:00-19:00）

吹田・工学部 U2-211 講義室（4月9日（金）18:00-19:00）

※どちらかに必ず出席のこと（欠席者は受講不可）

大阪大学学内授業

8月6日（金）10：30-12：00

イタリア・デザイン・サマースクール（イタリア・ボローニャ大学）

8月30日-9月15日

大阪大学 CSCD とボローニャ大学産業プロジェクト・デザイン高等学院が共同で運営します。8月30日-9月11日ボローニャで基礎と応用を、9月12日から15日までの数日は郊外のベルティノーロでモデル制作等を学びます。「デザイン方法論」「CAD」、イタリアのデザイン教育の特色をなす「モデル・メーカーリング」などの実践に加え、「デザイン史」「芸術史」など文化的側面を重視し、ランボルギーニ（自動車）、カステッリ（家具）等、関連企業やミュージアム等の視察、見学、現地のデザイナーとの交流などを企画しています。今年度はミラノとヴェネツィア建築ヴィエンナーレの見学も企画しています。

このサマースクールの修了者には、大阪大学「アートプロジェクト入門」の単位に加え、ボローニャ大学より修了証書と単位が与えられます。授業は英語で行われます。

定員 24 名程度（藤田・ミラーニほか）

